

コード	402030101
記入日	H25.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	浜辺 伊三美

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	近代化施設整備補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40203	基本事業名称	農業生産性の向上	目コード	3
事務事業コード	4020301	事務事業名称	近代化施設整備事業費	細目コード	874
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町農業振興奨励事業費補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 農家		(対象指標1) 502戸				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・平成24年度補助金交付実績内訳 →ハウスビニール張替え 24件 →防虫網 1件 →トンネル支柱 0件 →堆肥購入 22,231袋 →管理機 7件 →ハウス新設 1件	***** 補助金交付件数	4件	100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	計画どおり補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・販売用作物の施設化、土づくり対策等による品質向上、増収を図る。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 販売農家数	182戸	100%	***** 販売農家数÷ 目標販売農家数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	施設整備に対して助成することで、販売農家の生産意欲・技術向上を図り、販売農家の育成につながった。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	1,408	1,408	1,404	4	4				
	②									
成果指標	① 戸数	1,547	1,547	1,365	182	182				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	19,976	19,976	16,043	3,933	3,933				
直接事業費 A	千円	14,376	14,376	11,143	3,233	3,233				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	19,976	19,976	16,043	3,933	3,933				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	食の豊かさなどの時代情勢を考慮すると、更なる施設整備が必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	農産物直売所等での出荷販売により地産地消の推進が図られる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現制度にて充分である。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	必要最小限の経費で事業を実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	事業推進上できない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	単に補助金を交付するだけでなく農業の担い手育成事業とも連携しながら農業振興を図ること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。